

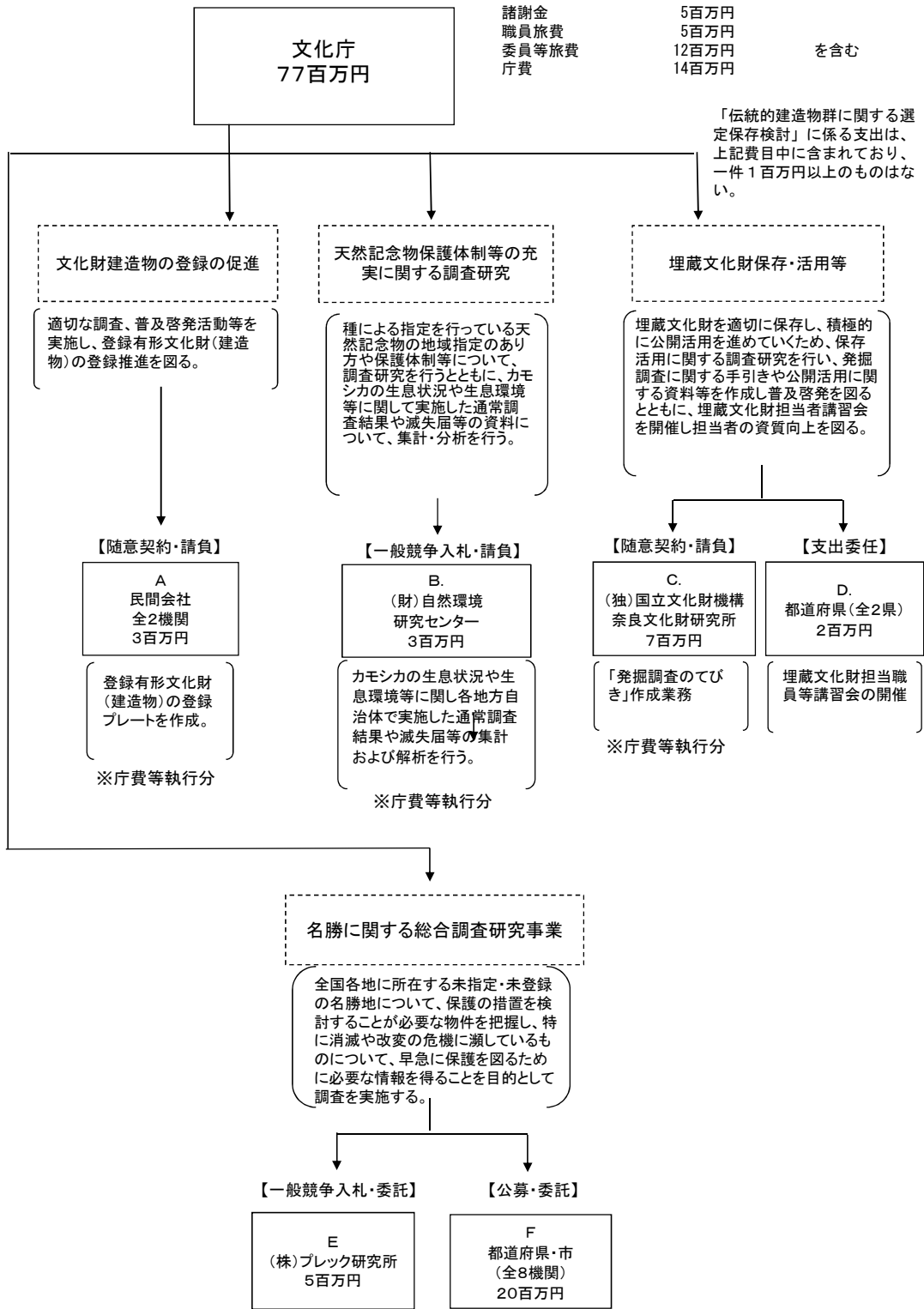
平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	有形文化財	担当部局庁	文化庁	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	昭和54年度～終了年度未定	担当課室	文化財部美術学芸課 文化財部記念物課 文化財部参事官(建造物担当)	美術学芸課長 江崎 典宏 記念物課長 榎本 剛 参事官(建造物担当) 村田 健一			
会計区分	一般会計	政策・施策名	XIII 文化による心豊かな社会の実現 XIII-2 文化財の保存及び活用の充実				
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化財保護法 第1条	関係する計画、通知等	文化芸術の振興に関する基本的な方針(第3次基本方針) (平成23年2月8日閣議決定) 文化審議会文化財分科会企画調査会報告書(平成19年10月)				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本事業は、文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的建造物群に関する選定保存検討 <ul style="list-style-type: none"> → 伝統的建造物群の保護行政に携わる者等を対象として、職務遂行に必要な基礎的事項に関する研修を行い、もって文化財保護行政の向上に資するとともに、広報資料を作製、配布し、広く制度の普及を図る。 ・文化財建造物の登録の促進 <ul style="list-style-type: none"> → 文化財建造物の登録の促進を図るため、文化財登録制度の啓発・普及広報、登録候補物件の調査、登録プレートの発行を行う。 ・近代文化遺産保護検討等 <ul style="list-style-type: none"> → 近代の歴史資料に関する所在・実態を把握するための調査を実施する。 ・天然記念物保護体制等の充実に関する調査研究 <ul style="list-style-type: none"> (1)天然記念物保護に関する調査研究 <ul style="list-style-type: none"> → 地域を特定せず種による指定を行っている天然記念物は、近年、開発の影響等で生息地周辺の環境変化が著しく、その保存が困難となってきたため、これら天然記念物における地域指定のあり方や保護体制等について調査研究を行う。 (2)カモシカ生息・生態等調査 <ul style="list-style-type: none"> → 地域を特定せず種による指定を行っている天然記念物の中で、特別天然記念物カモシカについては、恒久的な安定的維持繁殖を図るための保護地域の設定作業をこれまでに進めてきており、これら保護地域における適切なカモシカの保護管理を期するための基礎資料を得る目的で、カモシカの生息状況や生息環境等に関して実施した通常調査結果や滅失届等の資料について、集計・分析を行う。 ・埋蔵文化財保存・活用等 <ul style="list-style-type: none"> → 埋蔵文化財を適切に保存し、積極的に公開活用を進めていくため、保存活用に関する調査研究を行い、発掘調査に関する手引きや公開活用に関する資料等を作成し普及啓発を図るとともに、埋蔵文化財担当者講習会を開催し担当者の資質向上を図る。 ・名勝に関する総合調査事業 <ul style="list-style-type: none"> → 全国に所在する未指定の名勝地のうち、自然的な名勝地と近代以前の人文的な名勝地(庭園・公園等)について所在状況調査を実施する。 						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
		補正予算	56	84	92	148	139
		繰越し等	△ 1	△ 1	△ 1	—	—
		計	55	83	91	148	139
	執行額	41	63	77	—	—	
	執行率(%)	74.7%	75.8%	84.4%	—	—	
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は、我が国がこれまでに培ってきた貴重な文化遺産を後世に継承するため、必要な作業・調査を実施するものであり、事業の成果を定量的尺度で評価することは難しく、成果目標を設定することは困難である。		成果実績	—	—	—	—
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	本事業は文化財保護法等により定められた事務処理等を行っているため、活動指標を定めることは困難である。		活動実績(当初見込み)	41	63	77	—
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	9百万円	9百万円				
	職員旅費	7百万円	7百万円				
	委員等旅費	21百万円	21百万円				
	庁費	51百万円	35百万円				
	文化芸術振興委託費	60百万円	68百万円				
	計	148百万円	139百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない			

事業所管部局による点検							
項目		評価	評価に関する説明				
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	本事業は、我が国の貴重な文化遺産を後世に継承するために必要な作業や調査を実施するものであり、全国的な視野に立ち、国が実施する必要があるものである。また、文化遺産は、その国のアイデンティティのひとつであり、国民のニーズも高く優先度が高い事業である。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○					
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—					
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出に当たっては、企画競争や一般競争入札の実施により、競争性を担保しつつ、コスト削減に努めている。また、契約にあたっては、審査会により、事業費等の精査を行い、目的に即し、真に必要なものの経費であるかどうかなどを判断している。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○					
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○					
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○					
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○					
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	—	各事業ともに、それぞれの分野における作業や調査を実施し、その結果は、文化財保護の適切化に資するものである。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○					
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○					
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—					
	事業番号	類似事業名				所管府省・部局名	
点検結果	<p>「伝統的建造物群に関する選定保存検討」や「文化財建造物の登録の促進」は、実施後直ちに成果が現れる性質の内容でないため、定量的尺度を用いての点検はなじまない。</p> <p>「重要伝統的建造物群保存地区」については、過去の取組が結実し、年間5件程度、「登録有形文化財建造物」については年間500件程度登録が行われるなど着実に成果が上がっているところである。</p> <p>「近代文化遺産保護検討等」については、比較的歴史が浅く重要文化財等に指定し保存の措置を講ずることが困難な近代文化遺産を把握するための調査であり定量的尺度を用いる点検はなじまないが、現地調査等を実施することにより今後の保存・活用対策の策定に資するものである。</p> <p>「天然記念物保護体制等の充実に関する調査研究」のうち、カモンカ生息・生態等調査研究の実施にあたっては、一般競争入札を実施し、費用削減に努めるとともに、事業実施にあたって透明性を確保している。この事業実施により集計・分析されたカモンカのデータは、カモンカの適切な保護管理に活用されているものである。</p> <p>「埋蔵文化財保存・活用」は、発掘の手引き作成や、講習会を開催することで、埋蔵文化財担当者の意識改革、質の向上を図っている。人材育成の取組であることから定量的尺度での点検にはなじまないが、継続した事業の実施により、埋蔵文化財行政の向上に資するものである。</p> <p>「名勝に関する総合調査事業」は、全国各所に所在する未指定・未登録の名勝地について、早急に保護を図るために必要な情報を得ることを目的として調査を実施している。この事業により得られた情報は、名勝地の指定・登録の手続の際に活用され、名勝地の保護に役立てられている。</p>						
	外部有識者の所見						
	外部有識者による点検対象外						
	行政事業レビュー推進チームの所見						
	事業内容の改善	<p>1. 事業評価の観点: 本事業は、有形文化財の各種普及・啓発及び調査等経費、天然記念物、埋蔵文化財、名勝に関する調査研究事業などで構成されており、長期継続事業の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見: 本事業は長期にわたり実施してきており、これまで一定の見直しを行ってきたところであるが、より一層の効率化を目指し、積算の不断の見直しなどを通じて引き続きコスト削減に努めるべきである。長期に継続している普及啓発事業についてはこれに留まらず、活用へと発展する効果が見込めるよう各事業の状況に応じた見直しを検討すべきである。</p>					
	所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
縮減	<p>本事業については、有形の文化財の保存・活用を図るための普及活動や調査研究等を実施している。このうち、長期的に実施している普及啓発事業については、文化財の公開・活用を促進するための方策の提示、有効な実施例などの情報提供を行うこととするなど、事業内容の見直しを行う。</p> <p>また、事業の執行実績を踏まえ、旅費、役務費等の積算の見直しを行うことにより、概算要求に▲3百万円反映した。</p>						
備考							
関連する過去のレビューシートの事業番号							
	平成22年	0470、0471	平成23年	0389	平成24年	0412	

※平成24年度実績を記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない

費目・用途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と用途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.(株)コトブキ			E.株式会社プレック研究所		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務	登録有形文化財(建造物)登録プレートの作成	2	人件費	賃金	4
			その他	一般管理費(0.5)、消費税(0.3)、事業費(0.3)	1
計		2	計		5
B.財団法人自然環境研究センター			F.長野県		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	賃金	2	雑役務費		3
その他	下請負費(0.5)、一般管理費(0.2)、消費税相当額(0.1)	0.8	その他	旅費(0.2)、諸謝金(0.2)	0.4
	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない			※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない	
計		3	計		4
C.独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	賃金	2			
製本費	印刷製本	2			
諸謝金	謝金	0.8			
一般管理費		0.6			
旅費	打合せ旅費	0.5			
消耗品費	消耗品購入	0.1			
	※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない				
計		6	計		0
D.東京都			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会議費	会場借り上げ等	0.5			
旅費	出席者旅費	0.4			
諸謝金	講習会講師謝礼	0.1			
計		1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)コトブキ	登録有形文化財(建造物)登録プレートの作成	2	随意契約	100%
2	(株)コトブキ	登録有形文化財(建造物)登録プレートの作成	2	随意契約	100%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人自然環境研究センター	カモシカモニタリング調査等解析	3	1	100%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	独立行政法人奈良文化財研究所	「発掘調査のてびき」の作成	7	企画競争	-

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都	埋蔵文化財担当職員等講習会の開催	1	-	-
2	広島県	埋蔵文化財担当職員等講習会の開催	1	-	-

※支出委任であるため「入札者数」「落札率」は「-」としている

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ブレック研究所	未指定・未登録の名勝に関する悉皆調査	5	3	100%

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	長野県	長野県における未指定・未登録の名勝に関する調査	4	企画競争	-
2	長崎県	長崎県における未指定・未登録の名勝に関する調査	4	企画競争	-
3	和歌山県	和歌山県における未指定・未登録の名勝に関する調査	3	企画競争	-
4	熊本県	熊本県における未指定・未登録の名勝に関する調査	2	企画競争	-
5	福井県	福井県における未指定・未登録の名勝に関する調査	2	企画競争	-
6	日南市	日南市における未指定・未登録の名勝に関する調査	2	企画競争	-
7	富山県	富山県における未指定・未登録の名勝に関する調査	2	企画競争	-
8	福知山市	福知山市における未指定・未登録の名勝に関する調査	1	企画競争	-